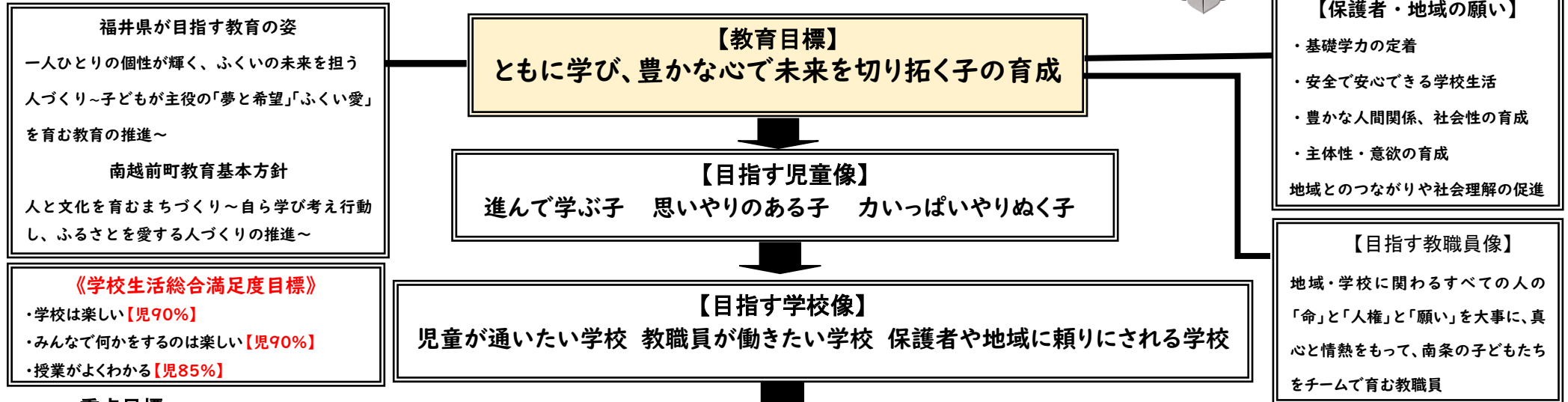
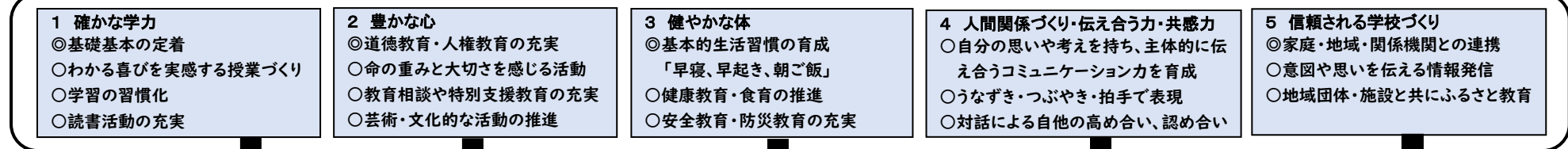


令和8年度 南条小学校スクールプラン



重点目標



具体的な取組・数値目標

ア) 学習前の準備(用具・時間と気持ち)を整え、学習に向かわせる。【児・教 85%】 イ) 学年や個に応じた学習の習慣を確立する。【児・教 90%】 ウ) 言語活動を通して、主体的に思考し表現する授業づくりに取り組む。【教 90%】 エ) 学習環境を整え、ICT機器を効果的に活用するなどして、学力の向上と定着に努める。【教 90%】 オ) 朝読書や週末読書等、学年や個に応じた読書習慣を身に付ける。【児・保 80%】	ア) 道徳教育や人権教育を核とし、学校生活全体で、他を思いやる心、仲間と協力し合う心を育てる。【児・教 80%】 イ) 一人一人の長所を認め合い、自己有用感を高め、自他がかけがえのない存在であることに気付かせる。【児・教 80%】 ウ) 自ら進んで挨拶し、「ありがとう」や「ごめんなさい」を素直に言う子を育てる。【児・教・保 80%】 エ) 不登校やいじめの未然防止・早期発見・早期解決に努める。【児・教 90%】 オ) 芸術・文化を身近に感じる鑑賞や発表の機会を設ける。【児 80%】	ア) 保健指導や給食指導を通して、家庭との連携を図りながら、望ましい生活習慣を育成する。【児・教・保 80%】 イ) 体育的行事・体育の授業・業間運動を通して、体力の向上と運動の習慣化を図る。【児・教 90%】 ウ) 食に関する指導を給食時や他教科との関連を図りながら工夫して行い、食の大切さについての理解を深める。 エ) 安全教育や防災教育を通して、自他の安全意識を高める。【児 80%・教 90%】	ア) 児童同士が聴き合える関係をつくり、話し手を見ながら、耳を傾けて話を聴く。【児 80%】 イ) 思いや考えを話し合ったり書いたりする場面を多く設定する。【教 80%】 ウ) 対話する中で、知識の深まり、視野の広がり、他を認める寛容さを育み、確かな自己理解を促す。【児 80%】 エ) ペアまたはグループでの対話活動を大切に、話す・聴く・基礎づくりを推進する。 オ) 友達の良かったところや感じたことを振り返る時間を設け、共感を育む。	ア) 定期的な学校公開と、ICT機器の活用により、積極的に情報発信を行う。【保 80%】 イ) 家庭と連携しながらデジタル・シティズンシップ教育を推進する。【児・教 80%】 ウ) 総合的な学習のテーマに沿ったふるさと学習に取り組み、地域の事を調べたり、地域の人材を積極的に活用したりする。【児・教 80%】 エ) 発達支持的生徒指導の基盤として、関係機関等と日常的に連携を図る。 オ) 園・小・中の中での情報交換や交流を行い、連携を深める。
--	--	--	---	--

*赤字は年度末学校評価における数値目標を表しています

児：児童対象学校評価、保：保護者対象学校評価、教：教職員対象学校評価を表しています

＜業務改善の取り組み＞ 目的：心のゆとりを生み、教育効果を高めるため
◎タイムマネジメントを意識した業務の推進 ○会議・研修等の効率化 ○校務分掌の適正化